

## 大津市の古都指定に関する過去の議論について

回数	年 月	議事概要（歴史的風土審議会）
第 11 回	1969(S44).10	・「大津市の指定については宮跡を現地視察したうえで専門委員会としての意見をまとめる」【専門委員会報告】
第 12 回	1969(S44).10 1970(S45). 3	・専門委員会による現地視察（太宰府、大津） ・「未だわが国の歴史上意義を有する建造物、遺跡等の実体が確認されていないので今のところ指定の必要はない。」【専門委員会報告】
第 43 回	1996(H 8).10	・「大津京等、現在の対象都市以外の都市についての検討が必要」 【委員からの発言】
	1996(H 8).12 ～ 1997(H 9). 5	・古都保存問題等検討小委員会（第 1 回～第 3 回）
第 44 回	1997(H 9). 6	・「現在は開発により歴史的風土が失われる恐れがなくとも、未然に開発を防止し、適切な保存を図る観点から、大津市など保存すべき歴史的風土が認められる市町村については、引き続き検討する必要」 【古都保存問題等検討小委員会（第 4 回）中間報告】
	1997(H 9).10 ～ 1998(H10). 2	・古都保存問題等検討小委員会（第 5 回～第 8 回）
第 45 回	1998(H10). 3	・「現在は開発により歴史的風土が失われる恐れがなくとも、未然に開発を防止し、適切な保存を図る観点からは、大津市など保存すべき歴史的風土が認められる可能性のある市町村について、今後の遺跡発掘状況や地元市町村の意向に配慮しつつ、引き続き検討する必要」 【意見具申】
回数	年 月	議事概要（都市計画・歴史的風土分科会歴史的風土部会）
第 1 回	2002(H14).4	・歴史的風土部会における今後の検討方向として、「大津市の古都指定について、引き続き検討することが必要である」旨、事務局から報告。
第 2 回	2002(H14).11	・現地視察の後、大津市の古都指定について審議し、「今後も着実に検討を進めていく」こととした。
第 3 回	2002(H15).4	・大津市の古都指定について、国土交通大臣から社会資本整備審議会会長へ諮問がなされ、歴史的風土部会に付託された。